

Next Steps After a Sporting Event

オリンピック/ラグビーワールドカップに伴うスポーツイベント/フェスティバル/ファンゾーン等の後に続く次のステップ

1 ユース

a) スポーツコミュニティ

フェスティバル等に参加した青少年をフォローアップするために、野球、サッカー、バスケットボール等のスポーツトーナメントを週1回、定時に行う。フェスティバル等からの出会いをより親密に築くために有効な方法。他にスポーツに関連する方法としては、スポーツクリニックを開催して各競技のスキルを指導する、スポーツキャンプを運営する、等。

a) ユースカフェ

道徳的に安全な場所としてカフェをユースに提供する。このユースカフェで行われるアクティビティは、それを通して純粋なコミュニティを築くことを目的としたものとする。地域の教会がカフェの運営チームを作り、週数回または週1回、定期的に一貫して開催する。地域コミュニティの後援で運営する。

a) ライフ・コーチング

スポーツの分野における使徒養成のプロセスにおいて、指導者は各スポーツのスキル面の訓練をすると同時に、生き方・キリスト者としての在り方を指導することを各セッションに統合して取り入れる。

2 児童

a) 日曜学校 – Joy Joy (ジョイ・ジョイ)

日曜日に楽しい時間を子供達に提供する。毎週日曜日、1時間程度、子供達が神様のことを体験できる集会。学校ではないが、子供達がのびのびとした雰囲気の中で礼拝する場所。ダンスやゲームなど楽しい要素を取り入れ、神様を礼拝することは退屈なことではないと知ってもらう。自由で安心できる環境の中で、子供達がそれまで体験したことがない方法で神様のことを知ってもらう。

ジョイジョイは儀式ではなく生き方の一部。みんなの居場所がある、創造的な場である。教会の外でも内部でも、子供達が安心して過ごせる場所が必要とされる。ジョイジョイに参加した後に子供達が使えるスポーツエリアを確保する。子供達が自分達の場所であると感じられる環境を作る。

a) キッズゲーム

3~10日間のスポーツとゲームのプログラム。子供達が聖書の物語をゲームを通して発見し学ぶことが出来る方法を取り入れる。学校の休暇中のホリデーキャンプとして連日行っても良いし、週1回ずつ何週間かに渡って行っても良い。臨機

応変に、一日2時間から6時間、必要に応じて日程を決める。楽しめるゲーム、体験から学ぶこと、競技、創造的な選択肢などを組み合わせて、子供達にとって活動的で熱中できるプログラムにする。プログラム運営のために10代の青少年をチームリーダーとして参加させることができれば理想的。

a) キッズクラブ

フェスティバルからのフォローアップのために子供達を毎週行われるキッズクラブに招待する。週一回2時間程度、ゲーム、アクティビティ、工作、ダンスなど、キリスト教的価値観が取り入れられたクラブを運営する。

a) 学校の休暇中の聖書スクール

フェスティバルまたはイベントの直後に運営されるのが効果的。学校の休暇を利用して行われる。教会または地域のホールなどを会場とし、子供達に楽しく、熱中できる数時間にわたるプログラムに参加してもらう。キッズクラブと似た構成になるが、休暇を利用した、平日5日間連続のプログラムとする。最終日に保護者を招待して発表会を行い、続けて教会と繋がりを持ってもらえるような次のステップの招待する。

a) キッズハブ（子供を中心に / 接続する、のような意味）

子供から大人まで家族みんなで参加できる使徒養成プログラム。週1回定期的に開かれ、特定のスキルを学ぶことと聖書に書かれていることの発見をリンクする内容とする。クッキング、映像作品作り、ガーデニング、ビジネススキル講座、チェス、演劇、ダンス、モーターの技術などを学ぶプログラムがこれまで使われている。 <https://kidshubs.com/> 参照。

3 母親になったばかりの人たち

お母さんの会

フェスティバルを通して乳幼児の母親と繋がりが出来た場合、クラフト（手芸・工作など）クラブや乳幼児連れの母親の会を始める。教会を会場として教会員のボランティアによって運営されると良い。

4 成人男性

a) クイズナイト

男性対象のスポーツクイズ大会を開催。チームに分かれてスポーツに関するクイズに答えて得点を競う。会の終わりに証しや福音を分かち合う。

a) 朝食会

教会または宗教色のない場所（ホテルなど）を会場として朝食を振舞う。ゲストスピーカー（スポーツ界の著名人など）を招き、証しをしてもらう。

5 高齢者

高齢者との懸け橋を作るためのアイデアは以下のようなものがある。

- 日帰りまたは宿泊を含む旅行
- 美術・クラフトのグループ
- 午前中のコーヒークラブ（飲み物とビスケット程度のスナックを囲んでおしゃべりする会）
- 「覚えていますか？」の会（何かの出来事・物事があった時のことを中心に話し合う会）
- 60年以上前の音楽のコンサート
- （体が不自由、車がないなどの理由で）家に閉じこもりがちな人の買い物や銀行等への外出を定期的に助ける
- 学習を続けたいと願う高齢者のために図書館をつくる
- 高齢者や介護者、配偶者を亡くした人とその家族にそれぞれフォーカスした特別礼拝

6 家族連れ

違いのある教会／メッシーチャーチ（めちやくちやな、汚れた教会）

年齢に関係なく参加できる、形式にこだわらない礼拝。

定期的に月1回、地域の人たちに家族連れで来てもらうための礼拝。来場者の歓迎、聖書的な創造性を楽しむアクティビティに続いて、朗読（または寸劇）や歌、祈り、参加者全員での軽食などを含む短時間の楽しい時間を取り入れる。会場は教会、地域のホール、公園など、地域の人たちとの繋がりを作りやすい場所を選ぶ。

その他のフォローアップのアイデア

最初の出会いの後に教会が運営するイベント等に招待する。

- 後日連続して予定されているフェスティバル
- 地域の人たち対象のバーベキュー
- クラフトグループ
- 育児講座
- 読書会、意見交換会
- 英会話

福音を知ってもらうために

- アルファ <https://japan.alpha.org/>
- 聖書の学びの会

- 普段教会に通う習慣のない人も歓迎する教会
- 福音伝道に適した本、冊子やスポーツバイブル
- イエスの生涯を描いた映画

福音を聞いた人がそれに答える機会をつくるために

- 青少年に働きかけるために共に活動するユースグループ、例えばグループの日帰り旅行など。
- 子供達のための活動をする奉仕者が合同で伝道活動をする。
- クリスマス礼拝、イースター礼拝
- クラフトの会や朝食会で証しをする。
- 福音伝道キャンペーン
- 家族連れに優しい教会でのイエスに従うことへの呼びかけ

「キリストの体」に居場所を見つけた人達を後押ししたこと

- アルファ <https://japan.alpha.org/>
- ホームグループ、聖書の学びの会、知り合いになったキリスト者と一緒に教会に行くこと
- 地域の新聞の（教会関連の）広告
- ウェルカムパック（教会に初めて行った時に渡されるリーフレット等）
- クリスマス礼拝、イースター礼拝
- 歓迎的な教会ウェブサイト
- 家族連れで気軽に参加できる形式にこだわらない礼拝